



10/29 和楽集団昂が熊本県3位に!



10月29日に熊本県立劇場演劇ホールで開催された日本太鼓ジュニアコンクール熊本県大会にて和楽集団昂が3位に入賞しました。和楽集団昂は、村内の児童40人程度で活動しており、日々太鼓の練習をおこなっています。

和楽集団昂の板東朗史さんからは、「今回のジュニアコンクールは初めての参加だったが、稽古を重ねるごとに自信がついていき、堂々と本番で打つことができました」と感想を述べられました。

10/29 日本太鼓ジュニアコンクール熊本県大会入賞!!



10月29日に熊本県立劇場演劇ホールで開催された日本太鼓ジュニアコンクール熊本県大会にて、南阿蘇太鼓が入賞を受賞しました。南阿蘇太鼓は、「修練・調和・愛郷」の理念のもと、村内の小学5年生から高校2年生までの生徒が日々練習をおこなっています。

リーダーの亀川寛永さんからは、「九州大会では上位入賞を目指し、県大会よりもいい演奏ができるように、これまで以上の練習を重ねて頑張ります」と抱負を述べられました。

熊本県発明工夫展表彰



県内の小・中学生に創造する喜びと発明工夫の楽しさを体得させ、熊本県の科学技術の振興や発展を図ることを目的とした熊本県発明工夫展が開催され、久木野小学校6年の長瀬春樹さんと南阿蘇西小学校4年の村上結紀奈さんが小学生の部で優賞を受賞しました。

長瀬さんは、「勉強はかどるまほうのてぶくろ」をテーマに、学校でタブレットとタッチペンを使うときに手が触れても反応しない手袋の発明をおこないました。受賞



した長瀬さんからは、「賞をとれると思っていなかったのでも驚いたけど、賞を受賞できて嬉しい」と喜びのコメントがありました。

村上さんは、「キャップなくならな〜い」をテーマに、ペットボトルのキャップが無くならないような発明をおこないました。受賞した村上さんからは、「今回の発明が、賞を受賞できて嬉しい」と喜びのコメントがありました。

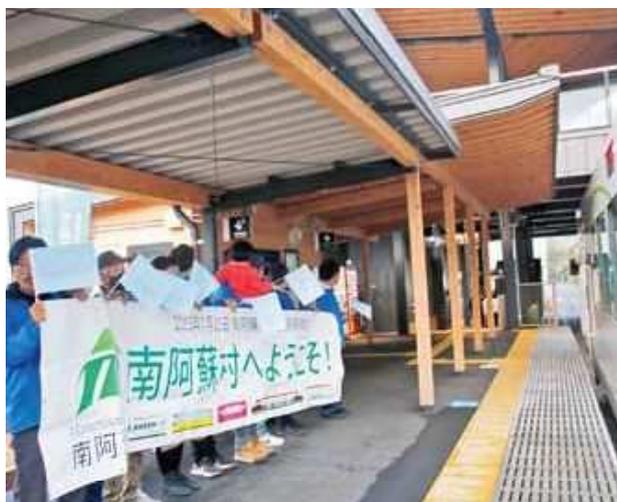
11/12 第7回「灯物語～環～」



11月12日、旧長陽西部小学校グラウンドにて、阿蘇の灯(東海大生有志団体)が「灯物語」を開催しました。同団体は、熊本地震後から南阿蘇村の支援・交流を続けています。

今回も村内の全小・中学生や全国有志から集った約1,350枚のメッセージ用紙を使った灯笼を学生や地域住民などで作成。当日は午後5時から参加者で点灯後、夕陽や灯笼と共に全員で記念撮影、その後、出店の地元料理を味わいました。「阿蘇の灯」代表の松尾翔琉さんからは、「継承が難しい中、皆さんの協力で開催できた。震災への鎮魂や平穏への願いを風化させないよう今後も続いてほしい」と述べられました。

11/17 ZIP!がお邪魔しました



11月17日、村内各地で日本テレビの番組「ZIP!」の生中継があり、南阿蘇村が紹介されました。

当日は、日本テレビの水トアナウンサーがあそ望の郷くぎのやヨ・ミュール、南阿蘇鉄道などを番組で紹介。全線運転再開した南阿蘇鉄道を紹介する場面では、立野駅から阿蘇下田城駅の区間に、多くの村民の皆さんが足を運び、生中継を盛り上げていました。

11/17 SDGsを推進する連携協定式



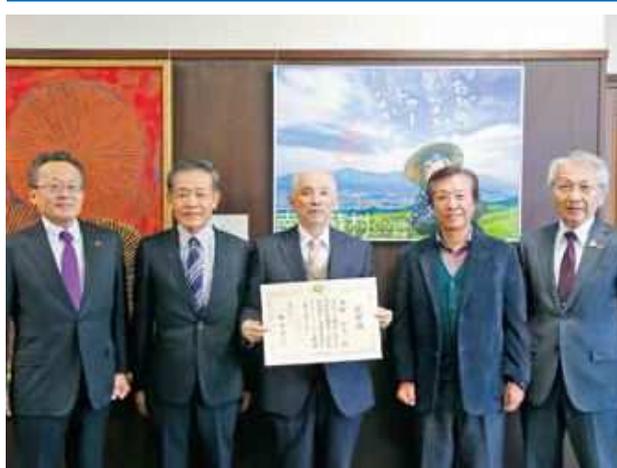
SDGs推進に関する連携協定締結式



11月17日、役場庁議室にて南阿蘇村と株式会社肥後銀行、公益財団法人地方経済総合研究所とSDGs推進に関する連携協定式がおこなわれました。この協定は、3者がそれぞれの資源や機能などの活用を図りながら、幅広い分野で連携することで、持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的としています。

今後はSDGsの推進に向けて、草原の維持・再生の取り組みや農林畜産業をはじめとした地場産業の活性化に関する取り組みなど幅広い分野での連携を目指していきます。

11/20 行政相談委員感謝状贈呈式



11月20日、役場応接室にて行政相談委員を10月31日に退任された興枵公憲さん(白川)に総務大臣感謝状が贈呈されました。

興枵さんは平成17年から18年間、行政相談員として村民から行政に関する相談や要望を聞き、問題解決に向けて助言や、関係機関に対する改善の申し入れなどをおこなってきました。今回その顕著な功績が認められました。



11/21 防災力向上に向けた訓練・研修開催



11月21日、阿蘇山上広場周辺一帯で阿蘇火山防災訓練がおこなわれました。この訓練では、阿蘇火山が噴火した場合における災害の発生を想定し、各防災機関の協力体制の確立を図るため実施されており、本村消防団員も訓練に参加しました。消防団員は、噴火情報が発令されると、ただちに火災想定場所に向かい、放水訓練をし、実際に噴火が発生した時の対応について確認をおこなっていました。

その後、消防団員は役場に移動し、防災講話を受講さ



れました。講話では、熊本県防災消防センターから草野猛さんを講師にお招きし、防災消防航空隊の救助活動や防災消防ヘリコプター「ひばり」についてなどのお話をいただきました。消防団員は、防災講話を聞いて災害に対する対応や人命救助についての心構えを改めて学習しました。

今後も村の防災力向上のため、さまざまな訓練や研修を継続していきます。

11/23 4年ぶりの御神輿と宮相撲



11月23日、立野神社の秋祭りが開催され、4年ぶりに御神輿練り歩きと宮相撲がおこなわれました。

当日は地域の住民だけでなく帰省された人や地元で働いている工事関係者の人たちも数多く参加し、法被を身にまとして御神輿の担ぎ手としても汗を流されました。

その後神社境内でおこなわれた宮相撲にはたくさんの子どもたちが参加。地域の皆さんの声援を受けながら一生懸命相撲をとっていました。頑張った子どもたちには景品も配られ笑顔がこぼれていました。

11/25 令和5年「肥後っ子の居場所づくり事業」



11月25日、南阿蘇そば道場にて、「肥後っ子の居場所づくり事業」として久木野小学校の児童、保護者などによる「そば打ち体験」がおこなわれました。「肥後っ子の居場所づくり事業」とは、各地区の少年警察ボランティア協議会が主体となって、警察、学校やPTAなどの協力を得て、地元の子もたちと体験活動などをおこなう取り組みです。

当日は、慣れない作業に子どもたちは悪戦苦闘しながらも、みんなで一生懸命そば打ちをおこない、最後は自分たちで作ったそばを食べて、笑顔が溢れていました。

いつまでもお元気に 100歳の表彰とお祝い



春木武弥さん(白川)が100歳を迎えられ、村より表彰状とお祝いが贈呈されました。春木さんは大正12年10月生まれ。戦前は現在の韓国で国鉄の車掌として勤務され、帰国後は村内で商店を約50年間営まれました。また、若いころはソフトボールのピッチャーとして活躍されたそうです。今年から施設に入所されており、誕生日当日は穏やかな秋晴れの下、ご家族と施設職員の皆さんに囲まれてのお祝いとなりました。村長から表彰状を手渡されるとにっこりと笑顔を見せられました。

11/30 南阿蘇の文化資源を受け継ぐ 石積み研修



11月30日、川後田集落センターで石積み研修会がおこなわれました。この取り組みは、南阿蘇村の集落ごとに見られる石垣がカルデラ内という特異な自然と長く共生してきた地域の知恵と労力の賜物であり、こうした村特有の石垣文化を、積み方を通して学び、次代に伝えようとする活動です。

研修は九州大学が南阿蘇村建設業組合の皆さんと共に汗を流しながら実施されており、今回は7回目。

これまでに13社が参加しており、今後も研修会が開催される予定です。

12/2・3 くまモンファーム開園



12月2日、南阿蘇村くまモンファームが開園されました。くまモンファームとは、地域全体を観光農園と見立て、農産物の収穫体験や食の体験をくまモンと掛け合わせた体験型のイベントです。

2日と3日は、開園を記念して、南阿蘇村の農産物とくまモンで埋め尽くされた特別仕様のトロッコ列車運行に併せて、くまモンが立野駅でお出迎え。その後、特別公演もおこなわれました。また2日には、ミニマルシェも同時開催され、多くの人たちが村の農産物や加工品などの買い物を楽しんでいました。

12/9 令和5年度 南阿蘇村ニュースポーツ大会



12月9日、すばーく長陽にて南阿蘇村スポーツ推進委員主催による南阿蘇村ニュースポーツ大会が4年ぶりに開催されました。この大会は、さまざまなニュースポーツの紹介・普及をおこない、村民同士が気軽にニュースポーツに取り組むことで健康維持増進を推進し、相互の親睦融和を深めることを目的としています。当日は、57人の方に参加いただき、モルックを体験しながら、参加者同士親睦を深めることができました。